

7/24 ~ 8/2 夏のクルーズ 1

前半組 夢の島 -- 熱海 比護 (GS)、鈴木、門田、渡邊、沼倉 (G)

7/24 夢の島 -- 三崎 (比護 S)

1020: 夢の島出港

1500: 観音崎

1810: 三崎港入港 三崎泊

log:40.6Nm 計器の表示が見やすく助かります。取り付けていただいた水野・鷺野両氏に感謝。

朝からの小雨もあがって、さしたる意気込みもなくスルスルと出港。給水ホースが積み込めなかったのが心残り。予定では新島直行・ナイトラン (90Nm) だったが、コース真向かいの風が 20Kn 近くあがってきたので、協議の結果三崎入港に変更。気象データの大島・新島はたいした風ではなかったのだが。いつものコースで、銭湯、音由で夕食。写真は剣崎の夕陽



7/25 三崎 -- 伊東サンライズ M (門田 S)

夜半から南風がゴウゴウと音をたて、予定通りに走っていたらえらいことになっていたところと、先見の明を自賛。島狙いは早々にあきらめ、漁協で朝食後伊東に向かう。多少なりとも新島に近づいておく。



伊東で、給油と給水の後、レストランでインドネシア料理 (半額割引中。飲み物は別)。明日はどうやら島渡りが出来そうと、情報収集を入念に行う。

7/26 伊東サンライズ M -- 新島 (渡邊 S)

朝の気象予報データでは風は島に向けるあたりから 13m、波高が 4m、濃霧の気配濃厚ということで出港。一同覚悟を決める。岸ベタで反転流を拾い、稲取沖で新島一本狙いに転進のコースを引く。風は予報と異なり落ちていた。

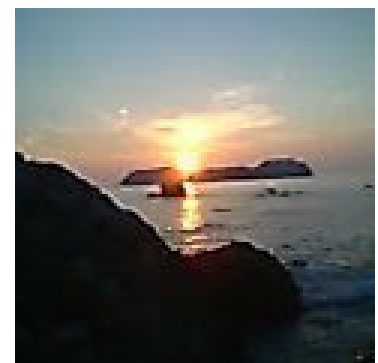
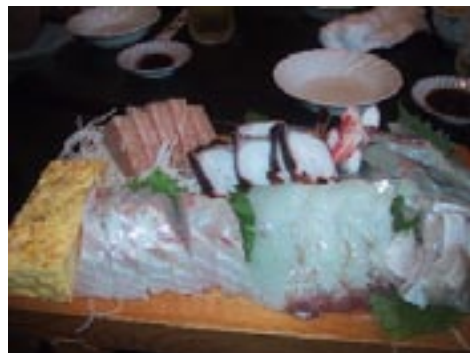


ノコギリ鯨 2 頭、2m くらいの鯨、トビ魚多数と遭遇しました。

霧の中からジェットフォイルがヌッと現れます。背景は利島。

下段は、新島港に落ち着いた海鈴と対岸の地内島





新島に落ち着いて：ギリシア神殿風露天風呂でひと汗流して、ご当地一番のグルメ店へ
 健寿司は、のれんを表に出さない、看板も無い。分厚い刺身の山を堪能。満足、満足。
 新島に夜のとばりが、夕陽に真っ赤に染まる空と海。 夜に健寿司の主人がサザエを差し入れ
 に訪れてくれた。 念願のくさを焼くことができて門田さん大満足。

7/26 新島港 -- 式根島 吹の江・野伏港 (鈴木 S)

夜半から濃霧。起きてみると視界は50m。霧が晴れるのを待って出港することにする。隣の式根島なので時間には余裕がある。昨日、ヨットが一隻入港。カナダ在住倭人と80歳を含むカナダ人の3人組。かなりひどい目にあったようで疲労風。潮岬を越えられず沖繩行きを断念ベラシスへ戻る途次とか。黒潮の蛇行が潮岬にひつつき、八丈の南に迂回、それで海水温の低下をおこし濃霧となる。今日は、今回の目標のひとつ、吹の江停泊。



先客 翌日新島で横抱きしてくれた。

透明度抜群



トドかな？

野伏港

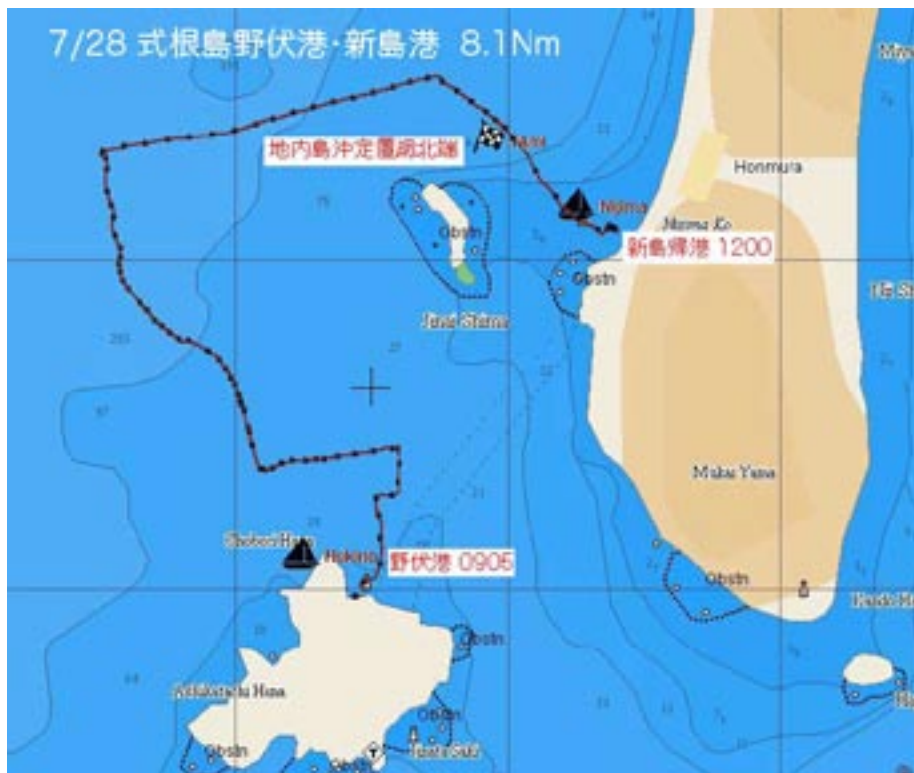
入り口、定期船岸壁

野伏港全景 中央角地に横抱きの海鈴

野伏は空きは1隻程度とみたほうがいいだろう。



7/28 野伏 -- 新島 比護 (S)



今日もやはり霧。昨日横抱きしてくれた下田の AMIE さんの出る前にと、霧が残る中出港。風弱く霧が晴れない。fog フォーンを鳴らして、五感を研ぎ澄まして恐る恐る進む。電子ナビが威力を発揮、位置情報が確認できるので助かる。

新島港では、昨日吹の江で一緒だった深浦のヨットに横抱きしてもらおう。横抱きは楽だなー。

健寿司でまた宴会。後は、三々五々くさや買い出し、夕陽入浴などで過ごす。

夜は比護さん調達の金目鯛、だっこのくさやを焼いた。

夜空は、満天の星、天の川に牽牛織女、はくちょう座の十字がくっきり。

比護さん推薦の流星群の片鱗の流れ星。健寿司の主人の明日は霧は出ないよを信じて就寝。夜半からは南の風がゴウゴウ。

7/29 新島 -- 稲取港 門田 (S)

南の強風でどうなることかと危惧したが、それも弱まり出港。待ちに待った晴れ間が。



爪木崎沖で、イワシとおぼしき小魚の大群で海面が盛り上がった固まりを10個ほど発見。流していたケンケン魚群の中に入れ込む。

形のいいサバを相次いでゲット。釣れないようにしていた時にもゲット。早速生き締めにして刺身に。サバとの心配もあらばこそ、コリコリした食感にうなる。漁労中の航跡は記録に残った。





稲取港は、お祭りの真っ最中。係留にはえらく時間がかかってしまった。

まあ、空気が全くなく、歓迎されざる客であったようだ。

浜の湯で汗を流し、居酒屋千代田で旅の最後の夜に乾杯。千代田の主人の話から推測するに、稲取でその昔、ヨットが悪さをして、漁船の係留ロープを切って出て行ったという有名な話以後、係船お断りになったというよりも、ひとり船の数が増えて空気が無くなり、出来なくなったということが正確な話のようだ。

「潮風よさこい祭り」と花火を特等席で堪能させていただきました。

7/30 稲取ー熱海 渡邊（S）

前半組最後のレグ。もうここまでくればとの安心感あり。ひさびさの帆走が楽しめる風を得て、30分交代で舵を握る。時間もせまってきたので機走で初島へ。稼ぎ時なので、外来艇をドンドコ入れるフィッシャリーナの洒落たレストランで今航海の打ち上げを、トスカーナの白ワインとパスタで祝う。

新島の蔵元で買い求めた揃いの「島自慢」Tシャツでバッチリ決めた5人衆は、どう見られたのだろうか？

後半組の大町さん、井上さんが待つ熱海スパマリーナへ無事到着。次なる航海は後半組に託された。

